



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -



～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1193回例会 2016年1月13日 No.1162号

■ 会長時間



会長 川中 敬三

第2例会唱和 ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

『第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること;第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとする;第3 ロータリアン1人1人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること;第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること;』

さて、今月のロータリーにおける特別月間としては職業奉仕月間です。ご存じのようにロータリーは1クラブ1業者、異業種の集まりを原則として発祥しました。即ち「職業分類の原則」の役割は、同業者間で生じる利害的対立がロータリークラブに持ち込まれないようにする、と同時に、なるべく多くの職業からの会員を擁することによってロータリーが地域の縮図を表すことも期待しているのです。例会に出席することによって、会員相互のコミュニケーションを深めて真の友人関係を築くとともに、相互啓発によって奉仕について自己研鑽を計り、其々の職業を通して奉仕を实践すると言う事です。もう一方にアーサー・フレデリック・シェルドンの提唱した[he profit most who serves his fellows best]であり、またハーバート・テラーが会社を立て直すのに「4つのテスト」を考案しました。これもロータリーにおける職業奉仕では非常に重要な問いかけです。先週にも申しましたが、ロータリークラブの根幹は職業奉仕を尊重して奉仕活動することから始まると言う事です。通常「奉仕」とは、金品の寄付、労力の提供(ボランティア)によってなされ、ロータリーでも社会奉仕や国際奉仕そして青少年奉仕など大凡この形をとるのです。しかしロータリーは奉仕の最重要課題として、職業奉仕を前面に出した活動を旨としました。この概念は自己の為の職業が、同時に企業の社会的貢献を通じて、他人ため、社会のためになる、すなわち自利利他を実現すると言う事なのです。今日ロータリーの目的(昔は綱領)の第2項を唱和しましたが、まさにこのとおりです。もう1度読み上げます、ロータリーとは、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会として、ロータリアン各自の職業を高潔なものとする。以上高慢なことを申しましたが、私としてもこの気持ちを日々醸成しながら邁進していく所存です。会員諸兄におかれましてもこのロータリー精神を忠実に実行され、陵北たるゆえんがここにあり、より一層魅力のあるクラブになるようご協力お願い致します。今日は以上で会長スピーチと致します。

今回の例会(1月20日)

来賓卓話
広島県警 生活安全部
谷本 剛 様

次回の例会(1月28日)

3RC合同夜間例会
(於:ホテルグランヴィア広島)
※1/27(水)の例会を変更

出席報告 (例会運営委員会)

1月13日(水)出席者
会員総数 52名
出席会員 40名
欠席会員 12名
ご来賓 0名
ご来客 6名
ゲスト 0名

来客者紹介 (親睦家族委員会)

1月13日(水)出席者
広島RC 2名
広島南RC 1名
広島西RC 2名
広島西南RC 1名

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894
【幹事】高野 憲一郎 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/ 【FAX】082-221-4870

幹事報告
(高野憲一郎)

■例会変更

- ・ 広島中央RC「施設訪問例会」
【と き】 1月25日(月) 12:30～ 【※同日変更】
【ところ】 広島市手をつなぐ育成会多機能型事業所
広島作業所

■お知らせ

- ・ 12月3日付けで大内稔康会員が退会しましたので、ご報告を致します。

- ・ 本日発行の週報を受付に置いてありますので、必要な方はお持ち帰り下さい。
- ・ 次回のプログラムは広島県警 生活安全部 谷本剛様の卓話となりますので、お知らせいたします。

連続100%出席表彰

南條泰会員が10年連続100%出席されました。
おめでとうございます。



川中会長、南條会員



.....smile box

武田龍雄 会員

先週、今年の第1回例会は取引先の葬儀で欠席してすみませんでした。今年もよろしくお願いします。

竹内真一 会員

12月12日(土)に永岡先生、今枝先生によるマイナンバー講習会を高陽真亀公民館にて開催させて頂きました。高陽・白木地区の郵政局長会主催の”地域貢献事業”の一環で、地域の皆様100名に聴講して頂きました。正にロータリーの”社会貢献”と郵便局の”地域貢献”が合致した事業でした。有り難うございました。

当日計	7,000円	累計	544,000円
-----	--------	----	----------

年 男 の 卓 話

石田 愼夫 会員



井上 進 会員

改めまして、皆様、あけましておめでとうございます。石田様に引き続き、年男の卓話ということですが、私は今年48歳になります。石田様と二回り24歳も違うということに驚きなのですが、大先輩にもかかわらず普段から優しく接して頂いてありがとうございます。

さて、ここにいらっしゃる皆様は、ほとんどの方が私より年上の方々になるかと思えます。48歳の時にしていたことを振り返られて、どのような出来事を思い出されるでしょうか？孔子の言葉に、「四十にして迷わず」というのがありますが、たぶん48歳辺りでは、皆様、今と違った形で仕事に邁進されていたのではないかと思います。



年男の卓話

私自身、ちょうど30歳で司法書士事務所を開業しまして、まさに「三十にして立つ」だったわけですが、司法書士会の役員などを経験させてもらって、少しずつ視界が広がっては来たものの、まだまだ迷わずには程遠く、日々右往左往しているところです。

ただ、仕事に邁進する気持ちは、RCに入会して先輩方々の姿勢を感じることによって増大しておりまして、今期司法書士会の副会長に就任したこともあって、様々な活動にも参加しております。今日はその中で司法書士会の活動3つをご紹介しますと思います。これらは新聞やテレビニュースでも大きく取り上げられましたので、ご覧になられた方も多いかもかもしれません。

一つは、広島法務局とタッグを組んでの、全国初となる「未来につなぐ相続登記」推進プロジェクトの発足でございます。東日本大震災の復興事業において、相続登記が未了であるがために、土地所有者の特定ができず、復興事業を大きく遅らせているという問題が明らかとなりました。お手元の資料のとおり、ちょうど昨日のNHKニュースでも取り上げられています(資料の説明)。安佐南区で発生した大規模土砂災害でも同様の事態が発生しているようです。また、相続手続きを長年放置することにより、何代にもわたり権利関係が細分化され引き継がれ、その結果、数十人に及ぶ共同相続人が細かく権利を持ってしまい、事実上売却しようにも全員の合意が整わず、これが空き家空き地になっていく現状もあります。これらは、相続登記がタイムリーになされていれば、起きなかった問題と言えます。そこで、「未来につなぐ相続登記」推進プロジェクトと銘打ち、広島法務局と広島司法書士会で、県内で相続登記推進のための広報活動や講演活動をスタートいたしました。これらの活動は本年も複数の市町で開催する予定となっております。

2つ目は、「空き家空き地対策です。」社会問題として注目が集まっているこの問題については、司法書士会では、対策委員会を立ち上げ、広島県にて設置されております協議会の空き家専門家チームに加わり、空き家空き地の利活用の前提となる、不動産の権利関係等の実践的アドバイスをスタートしております。空き家に関する特措法に関する指針に司法書士の活用が明記されて、期待を大きく感じているところでありますので、力を入れて取り組んで参りたいと思っています。

3つ目は、来月2月に、江田島市において、広島県内4か所目となる、司法書士総合相談センターを開設することとしています。江田島市は、空き家率が広島県内で最も高く、また、島嶼部としての地形の問題もあって、司法アクセスの難しい地域を抱えています。司法書士会では、毎年7月に江田島市において相談会を開催しておりますが、毎回多くの相談が寄せられていました。これらの地域で少しでも市民の皆様の暮らしの中での心配事を和らげることができればとの思いから、定点としての相談センターに加えて巡回相談をも行うこととしております。

以上、広島司法書士会の活動3つをご紹介しましたが、RCの活動では、ロータリー財団委員会で地区補助金申請に携わせて頂き、また、長期ビジョン特別委員会では議事録作成の中で、大先輩方々の陵北RCの将来を思った忌憚のない意見を聞くこともでき、釣り同好会では幹事と会計をお預かりさせてもらっているところです。次年度においては、副幹事を仰せつかりまして、今後益々右往左往するのが目に見えておりますので、皆様、どうぞお手柔らかによろしくお願い致します。

最後に、私の年男、12歳、24歳、36歳を振り返って見ますと、実は私の数少ないモテ期が到来しておりまして、今年はモテるのかなあと期待しています。と言っても、女性にモテるというより、人にモテる、つまり人との関わりが増える年という意味ですので、RCに入会したのと同じように、これから益々いい人との出会いがある1年になることを期待して、私の年男の卓話とさせていただきます。ご静聴、ありがとうございました。

年 男 の 卓 話

若林 孝光 会員

IT技術を利用した詐欺行為には様々なものがあり、常に新しい手口が生まれてきます。代表的な事例としてフィッシングについて紹介します。

「フィッシング」とは、銀行やクレジットカード会社、オンラインショッピングサイトなどを騙った偽メールで本物のホームページそっくりの偽のホームページに誘導し、IDやパスワード、住所、氏名、銀行口座番号、クレジットカード番号などの個人情報を入力させて盗み出す詐欺の手口をいいます。そして、このような詐欺に使われる偽ホームページを「フィッシングサイト」と呼びます。このフィッシング詐欺で情報を抜かれたカードを利用し、インターネットで買い物をして商品をだましとっている被害が増えています。



フィッシング詐欺に遭わないための対策

フィッシング詐欺に遭わないための対策として、以下に注意しましょう。

① 個人情報についてのメールでの問い合わせには応じない

金融機関(銀行・保険・カード会社等)やサービス事業者(ショッピングサイト、オークションサイト等)が、口座番号や暗証番号、本人の個人情報をメールで問い合わせることはありません。これらの項目を問い合わせるメールはフィッシング詐欺と断定して間違いありません。金融機関やサービス事業者から以下の内容について問い合わせがあったり、ホームページに誘導して入力させようとしたりする場合は、決して応じないでください。

- ・ クレジットカード番号、キャッシュカード番号、暗証番号
- ・ 住所、氏名、電話番号
- ・ オークション、プロバイダ、電子メール等のID・パスワード

なお、メールに記載されている会社やサービスが、よく知られている信頼性のある会社やサービスであれば、該当する会社に直接問い合わせ、メールに書かれている情報が本当のことであるかどうかを確認してください。問い合わせをするにあたっては、送付されているメールに書かれているアドレス(URL)はクリックせず、インターネットで検索して、直接その会社のホームページに接続し、問い合わせ先の電話や窓口を確認してください。

② 不審なメールは無視し、書かれているアドレス(URL)はクリックしない

受け取る覚えのない不審なメールに記載されているアドレス(URL)は一切クリックしないでください。あるいは、リンクをクリックして個人情報の入力手続きを促すような不審なメールは、すぐに破棄してください。また、以下のような内容の不審なメールは無視して破棄しましょう。

- ・ 「直ちに」「お早めに」「メールを見た日から一週間以内」など、具体的に何月何日までという日付の指定がない。
- ・ メールに記載されている実在の会社のホームページが表示されているが、個人情報を入力する画面は、その画面とは別の小さな画面で表示されている。
- ・ 日本語が正しくない。また、日本語のフォントが乱れていたり、混在していたりする。

③ ブラウザやウイルス対策ソフトの機能を使う

Internet Explorer やFirefoxなどのブラウザ、そして、ホームページ評価機能の付いた統合型のウイルス対策ソフトには、フィッシング詐欺のホームページに接続しようとしたときに遮断(ブロック)する機能があります。このようなブラウザやウイルス対策ソフトの遮断機能を使いましょう。なお、この機能を利用するにはブラウザを最新のバージョンにする必要があります。また、この機能は100%遮断できるわけではありませんので、ウイルス対策ソフトの機能と合わせて検知力を高めることも重要です。

【別紙】フィッシングメールの一例